

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 11月

令和元年11月1日の推計人口 1,324,775人

世帯数 561,355世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、

世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和元年11月1日現在の推計人口は、1,324,775人で、前月(1,325,205)に比べ430人の減少となった。

市部では大村市(96)、諫早市(88)、雲仙市(13)、壱岐市(3)の4市で増加し、長崎市(331)、松浦市(59)、対馬市(34)、島原市(33)、佐世保市(30)、南島原市(28)、西海市(26)、平戸市(22)、五島市(13)の9市で減少した。

郡部では時津町(38)、長与町(6)、東彼杵町(2)の3町で増加し、波佐見町(43)、新上五島町(30)、佐々町(14)、川棚町(12)、小値賀町(1)の5町で減少した。

自然動態は、出生数870人、死亡数1,498人で628人の減少、社会動態は、転入者数3,257人(県内転入を含む)、転出者3,059人(県内転出を含む)で、198人の増加となった。

2 世帯数

令和元年11月1日現在の世帯数は、561,355世帯で前月(561,321)に比べ34世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】・・・9月

1人当たり現金給与総額 251,898円

対前月比 3.1%減少

対前年同月比 2.2%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額251,898円で、前月に比べ3.1%減少し、前年同月に比べ2.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は247,305円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ2.1%増加した。

特別給与額は4,593円で、前年同月に比べ、400円増加した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は146.7時間で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ、0.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は136.4時間で前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ、0.1%減少した。

所定外労働時間数は10.3時間で、前月に比べ5.5%減少し、前年同月に比べ2.0%減少した。

3 雇用

9月の常用労働者数は226,796人で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ0.9%増加した。

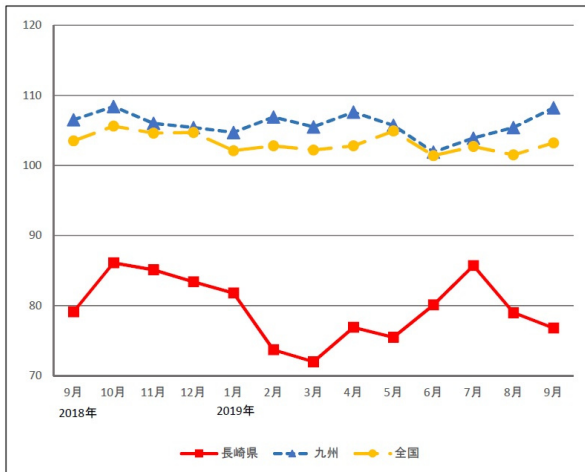
【鉱工業生産指数】…………… 9月

令和元年9月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比	原指数	前年同月比(%)
		(%)		
長崎県	76.8	2.8	78.1	3.2
九州	108.2	2.9	110.7	3.2
全国	103.2	1.7	105.2	1.3

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和元年9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が76.8で前月比は2.8%の減、原指数は78.1で対前年同月比は3.2%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、食料品工業など8業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など5業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	55.7	46.0	交流電動機
はん用・生産用機械工業	24.6	36.2	ペンディングマシン
食料品工業	14.8	28.3	清酒

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	20.8	1.6	半導体集積回路
輸送機械工業	2.4	13.6	修繕船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 10月

総合指数(H27=100)	104.0
対前月比(%)	+0.6
対前年同月比(%)	+0.5

令和元年10月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、104.0である。

前月比0.6%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+1.3%、「教養娯楽」の+2.7%であり、主な下落要因は「諸雑費」の3.7%、「教育」の9.9%である。

前年同月比は、令和元年7月は+0.7%、8月は+0.5%、9月は+0.4%と推移した後、10月は0.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.9であり、前月比は+0.5%、前年同月比は+0.7%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	1.3%
教養娯楽	2.7%
住居	0.7%
交通・通信	0.7%
家具・家事用品	2.0%
被服及び履物	1.6%
保健医療	1.5%

下落した費目

諸雑費	3.7%
教育	9.9%
光熱・水道	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 10月

消費支出(一世帯当たり)	304,421円
前月比	14,989円増(5.2%増)

令和元年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は304,421円で、前月比5.2%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は65.7%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。